

5月11日

首相、長男更迭要求を拒否



公邸で記念撮影 与党幹部も苦言

岸田文雄首相は二十六日の参院予算委員会で、公邸内で親族と記念写真を撮るなど不適切な行動をした長男翔太郎秘書官=写真=の処遇を巡り、野党の更迭要求を事実上拒否した。問題をただした立憲民主党議員に対し「長男に厳重に注意した」と述べることじめた。野党は、二度目の不祥事が報じられた翔太郎氏は秘書官に不適格だと厳しく批判。与党幹部も苦言を呈した。

予算委で、首相は翔太郎氏の記念撮影について「公邸内には公的なスペースもある」とから、適切さを欠いていると答弁した。立民の田名部匡代氏は「身内に甘いと言われるようでは、トップリーダーとしての資質に欠ける」と強調した。記者会見で、立民の泉健太代表は厳重注意だけは甘過ぎると力説。「翔太郎氏は国から給与をもらっている公務員だ。特別扱いせず、厳正に処分すべきだ」と求めた。国民民主党の櫻葉賀津也幹事長も「恩子をかばつているとしたら大問題だ」と訴え、翔太郎氏は説明責任を果たすべきだとの認識を示した。